

国連インド・パキスタン軍事監視団

United Nations Military Observer Group in India and Pakistan (UNMOGIP)

《 概 要 》

2024年10月

1 設立年月	1949年1月
2 設立決議	安保理決議第47号(1948年)
3 展開場所	ジャンムー・カシミール所在の停戦ライン
4 本部所在地	イスラマバード(11月～4月) スリナガル(5月～10月)
5 最高責任者兼首席 軍事監視員	ギレルモ・パブロ・リオス少将(アルゼンチン)
6 活動期限	規定なし
7 予算	約980万ドル(2024年1月～2024年12月)



8 経緯

- (1) 1947年8月、インド及びパキスタンは英国から独立したが、カシミール地方の帰属を巡って両国は対立し、紛争に発展。
- (2) 1948年1月、安保理は決議第39号を採択し、紛争の調査・調停を行う国連インド・パキスタン委員会(UNCIP)を設立。
- (3) 1948年4月、安保理は決議第47号を採択し、UNCIPのメンバーの拡大を決定するとともに、停戦のための軍事監視要員の派遣を勧告。これを受け国連事務総長はUNCIPを支える軍事アドバイザーを任命するとともに、同アドバイザーを支える軍事監視団を提供。同軍事監視団の最初の要員は、翌1949年1月にジャンムー・カシミールに到着。同監視団を中核として、国連インド・パキスタン軍事監視団(UNMOGIP)が誕生。
- (4) 1949年7月、カラチ協定により設定された停戦ラインは、インド・パキスタンそれぞれの地方司令官が、国連の軍事監視要員の支援を得て、相互に監視するものとされた。
- (5) 1951年3月、UNCIPの活動終了を受け、安保理は決議第91号を採択し、UNMOGIPが引き続き停戦を監視することを決定。
- (6) 1971年12月、第3次印パ戦争が勃発したが、同月17日に停戦が実現。これを受け安保理は決議第307号を採択し、全ての軍事勢力がUNMOGIPの監視するジャンムー・カシミールの停戦ラインを完全に尊重する位置及び領域へ撤退するまで、停戦及び敵対行為の停止が監視され、効力が持続されることを要請した。
- (7) 1972年7月、両国間でシムラ協定が締結され、従来のカラチ協定で設定されていた停戦ラインをほぼ踏襲する形で管理ラインが引かれた。これを受け、インドは、カラチ協定下での停戦ラインとの関係で活動していたUNMOGIPのマンデートは失効したとの立場を表明。パキスタンはインドの立場を容認せず。
- (8) UNMOGIPに関する両国の立場の隔たりを受け、国連事務総長は、同ミッションは安保理の決定によってのみ終了され得るとの立場を採った。以来、そのような合意はなされておらず、UNMOGIPは1971年の停戦時と同様の配置を維持している。

9 任務

- (1) 1971年12月に設立した停戦ラインの監視
- (2) 国連事務総長への報告

10 派遣規模

(1) 軍事・警察要員(計44名) ※2024年7月31日時点

- ・警察要員(個人):0名 ・警察部隊要員:0名
- ・軍事要員(個人):44名 ・軍事部隊要員:0名 ・司令部要員:0名

(2) 文民要員(計66名) ※2024年7月31日時点

- ・国際文民要員:23名 ・現地文民要員:43名

(3) 国連ボランティア(0名) ※2024年7月時点

11 要員派遣国 ※2023年9月30日時点

クロアチア、韓国、フィリピン、タイ、アルゼンチンなど計13か国

(詳細: 国連 DPO 要員派遣国統計

https://peacekeeping.un.org/sites/default/files/04_country_contributions_detailed_by_mission_76_july_2024.pdf)

12 犠牲者数 ※2024年8月31日時点

13名(事故:9名、病気:4名、悪意ある行為:0名、その他:0名)

(参照: 国連 DPO UNMOGIPウェブサイト <https://unmogip.unmissions.org/>)